

IWATSU |

プログラマブル・オシロスコープ

SS-7840P / SS-7825P / TS-8500P

取扱説明書



岩崎通信機株式会社 |

はじめに

このたびは、岩通のプログラマブルオシロスコープ・シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。今後とも末永くご愛用下さいますよう、宜しくご願ひ申し上げます。

本製品（SS-7840P / SS-7825P / TS-8500P）は、優れた基本性能と使いやすい機能を備えた SS 7800 シリーズのオシロスコープをベースに開発された、生産ライン用のオシロスコープです。インターフェース制御は、GP-IB 制御に比べ応答速度が速く、生産性の向上に貢献します。さらに、豊富な実績に基づく周辺機器は、ユーザの皆様のライン構築に要する負担を大幅に減らします。

この取扱説明書をよくお読みいただき、充分にご活用下さるようお願い申し上げます。

機能概要

インタフェース不要のクイック・ダイレクト・リコール

プログラムのアップ・ダウン用のマニュアル・ボックスを設けることにより、パネル設定をダイレクトに、しかも瞬時に読み出すことができます。

パネルセットアップメモリの分割使用（バンク化）

256 個のパネルセットアップをさまざまな領域で分割して使用することができます。

自動制御ラインの 8bit バイナリ・コードによる制御

生産ラインを構成している他の機器のコントロールに使われるバイナリ・コードを活用して、パネル設定のリコールを制御できます。

パネル設定を一括ロード可能

パソコンと接続することにより、パネル設定をフロッピー・ディスク等に一括してダウン・ロードやアップ・ロードすることができます。

ご注意

- (1)本文の内容の一部または全部を無断転載することは禁止します。
- (2)本文の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。
- (3)本製品を使用した結果に生じる損害について、弊社は責任を負いません。
- (4)付属プログラムの著作権は岩崎通信機（株）が所有しております。
- (5)付属プログラムの再配布、改変、及びプログラム内に表示してある著作権表示の消去は禁止します。
- (6)付属プログラムは、岩崎通信機（株）製プログラマブルオシロスコープ・シリーズと接続して、正常に動作することを確認した上でお渡ししておりますが、致命的な誤り以外についての保証はご容赦下さい。

Microsoft 及び Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

目次

第1章 セーブ/リコール機能

- 1.1 セーブメモリの保護機能 1
- 1.2 セットアップメモリのバンク化 2

第2章 外部コントローラによる制御

- 2.1 Up/Down スイッチによる制御 3
- 2.2 8bit バイナリコードによる制御 4
- 2.3 外部コントローラ結線図 5

第3章 パソコンによる制御

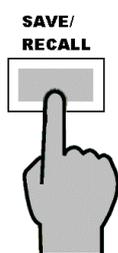
- 3.1 DOS/V 版ユーティリティ・プログラム
 - 3.1.1 インストール 6
 - 3.1.2 起動方法 7
 - 3.1.3 使用方法 8
 - (1) ビューア表示 9
 - (2) セットアップファイル送信 10
 - (3) パネルセットアップ受信 10
 - (4) 終了 11
- 3.2 Windows95 版ユーティリティ・プログラム
 - 3.2.1 インストールおよび設定 12
 - 3.2.2 Windows の設定 13
 - 3.2.3 起動方法 15
 - 3.2.4 使用方法 17
 - 3.2.5 その他 20
- 3.3 通信が完了しない場合には 20

第1章 セーブ/リコール機能

1.1 セーブメモリの保護機能

電源投入時の操作により、プログラマブル・オシロスコープをセーブのできないメモリ保護モードと、通常モードの切り替えを行うことができます。一度設定されたモードは、電源切断以降も有効になります。

操作方法



押し続ける



- ① SAVE/RECALL キーを押し続けながら電源スイッチを押して、電源をいれます。
- ② 操作パネルの全 LED (TRIG'D, READY は除く) が点灯するまで、しばらく SAVE/RECALL キーを押し続けます。
- ③ 全 LED (TRIG'D, READY は除く) が点灯したら、SAVE/RECALL キーを放します。



- ・切り替えの確認は、SAVE/RECALL キーを押したときに、“f:SAVE” が管面に表示されるかどうかで行います。
- ・また、保護モードが設定されている場合、起動時に管面左下に数秒間 “PROTECTED” と表示されます。

1.2 セットアップメモリのバンク化

パネル設定のセーブ時に、コメントの右端の文字を“\$”にすると、リコールする領域を分割（バンク化）することができます。

次に例を示します。

セットアップ番号に対してコメントが表のように入力されると、パネルセットアップは3つの領域に分割されます。

セットアップ番号	コメント	領域
1	[SETUP1]	領域 1
2	[SETUP2]	
3	[SETUP3 \$]	
4	[SETUP4]	領域 2
5	[SETUP5]	
6	[SETUP6]	
7	[SETUP7 \$]	領域 3
8	[SETUP8]	
9	[SETUP9]	
10	[SETUP10]	

現在セットアップ4をリコールしている場合、ファンクションつまみを右に回すと、次のようにリコールします。

RECALL 5 RECALL 6 RECALL 7 RECALL 4

左に回した場合は、

RECALL 7 RECALL 6 RECALL 5 RECALL 4

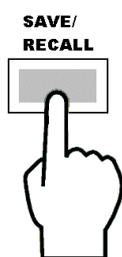
とリコールします。

隣の領域に移る場合は、ファンクションつまみを押します。回していた方向により、移る方向が決まります。

第2章 外部コントローラによる制御

2.1 Up/Down スイッチによる制御

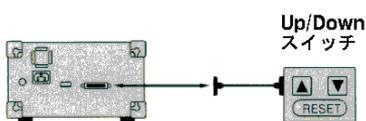
本体背面のコネクタに Up/Down のスイッチを接続することにより、リコール番号を遠隔操作することができます。これは外部から本体のファンクション・スイッチを回すのと同じ動作を行う機能です。



2回押す

操作方法

- 1 SAVE/RECALL キーを2回押して、RECALL モードにします。
- 2 本体背面のコネクタに Up/Down スイッチを接続します。
- 3 Up スイッチ、Down スイッチを押すことにより、リコール番号を増加、減少することができます。
- 4 Up スイッチと Down スイッチを同時に押すことにより、領域先頭の番号になります（リセット）。



RECALL 2

RECALL 1



・外部コントローラによる制御は、リコールモードの時のみ有効です。

2.2 8bit バイナリコードによる制御

本体背面のコネクタに 8bit のバイナリコードを入力することにより、直接リコールの番号を設定します。コネクタの結線は、「2.3 外部コントローラ結線図」を参照して下さい。

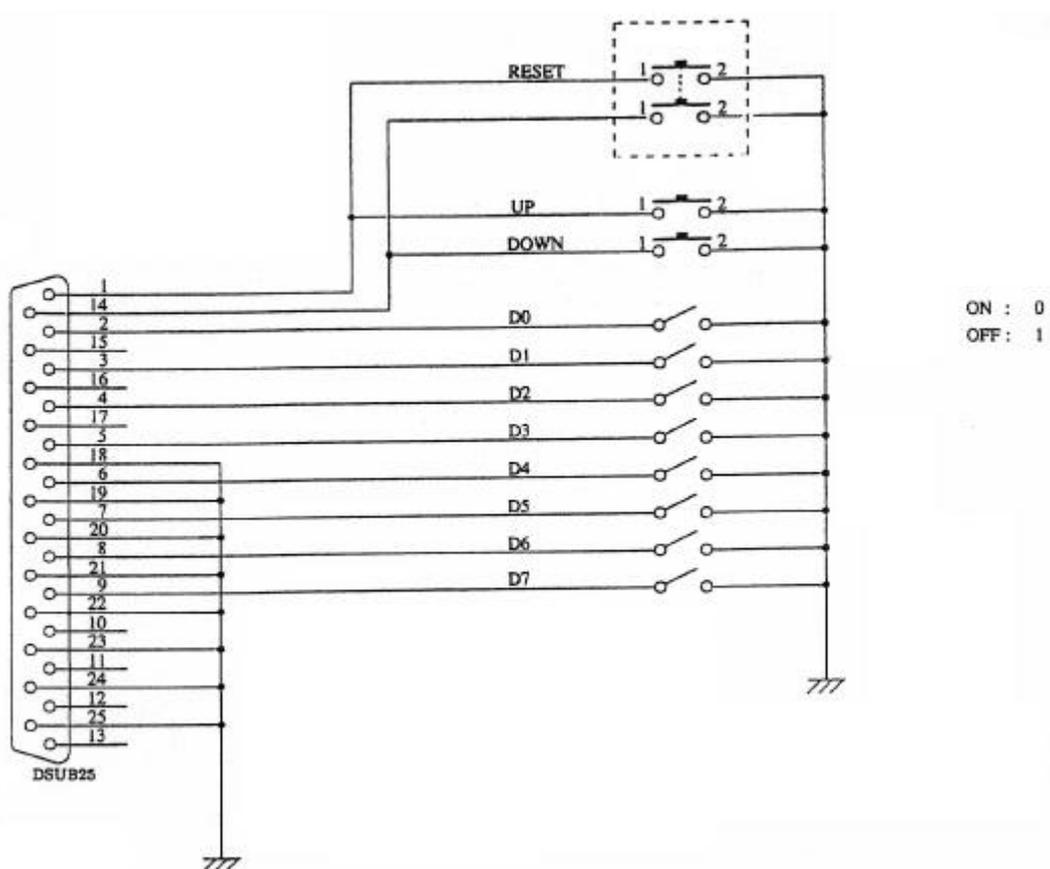


設定にあたってのご注意

- ・設定値は、変更された毎に本体に読み込まれます。変更がない場合は、Up/Down スイッチや本体のファンクションスイッチの設定が優先されます。
- ・設定できる値は 0～255 の範囲です。この値は RECALL 1～256 に対応しています（設定した値に 1 を加えたものが、RECALL の番号となります）。
- ・この設定はリコールメモリのバンクに影響されずに設定することができますが、スキップ設定（コメントの右端に “！” を入力する）の影響は受けます。スキップに設定された番号を指定した場合は、その次の番号をリコールします。

2.3 外部コントローラ結線図

外部コントローラの例を下図に示します。



- Up/Down スイッチ制御 : UP, DOWN, RESET
- 8bit バイナリコード制御 : D0-D7